

各位

上場会社名 株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ  
 代表者 代表取締役社長 笹原 政勝  
 (コード番号 6324)  
 問合せ先責任者 常務執行役員 長井 啓  
 (TEL 03-5471-7810)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

### 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

|                         | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|------------|
|                         | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 円 銭        |
| 前回発表予想(A)               | 20,000 | 4,730  | 5,100  | 3,130  | 30,753.63  |
| 今回発表予想(B)               | 17,500 | 2,920  | 3,370  | 2,060  | 20,240.61  |
| 増減額(B-A)                | △2,500 | △1,810 | △1,730 | △1,070 | ———        |
| 増減率(%)                  | △12.5  | △38.3  | △33.9  | △34.2  | ———        |
| (ご参考)前期実績<br>(平成20年3月期) | 19,212 | 4,416  | 4,738  | 2,741  | 26,934.97  |

### 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

|                         | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|------------|
|                         | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 円 銭        |
| 前回発表予想(A)               | 18,000 | 4,080  | 4,300  | 2,700  | 26,528.69  |
| 今回発表予想(B)               | 15,800 | 2,650  | 2,850  | 1,670  | 16,408.65  |
| 増減額(B-A)                | △2,200 | △1,430 | △1,450 | △1,030 | ———        |
| 増減率(%)                  | △12.2  | △35.0  | △33.7  | △38.1  | ———        |
| (ご参考)前期実績<br>(平成20年3月期) | 16,719 | 3,732  | 4,125  | 2,638  | 25,926.34  |

### 修正の理由

米国のサブプライムローン問題に端を発した世界規模の金融不安が深刻さの度合いを深めているなか、欧米先進諸国の景気停滞、新興諸国の成長鈍化というかたちで实体经济へも深刻な影響を与えはじめていることから、今後の世界の経済環境は景気減退を更に加速するものと予想しております。

このような環境のもと、当社の事業環境につきましても、国内外において製造業の設備投資が抑制されるものと予想されることから、当社のお客様である産業用ロボットメーカー、工作機メーカー、半導体製造装置メーカーなどが製造する装置の生産減少に伴い、これら装置の部品として使用される当社製品の需要減少が避けられないものと見込んでおります。

用途別には、これまで好調を維持してきた自動車産業やその他製造業の積極的な設備投資を背景に伸びてきていた産業用ロボット用途、工作機械用途向けに、主に減速装置の需要が大幅に減少する見通しです。また、半導体製造装置用途につきましても、半導体市況の低迷が長期化していることから、デバイスメーカーの設備投資が回復するまでには今しばらくの時間を要するものと見込んでおり、減速装置及びメカトロニクス製品ともに厳しい需要環境が続くものと予想しております。

これらの見通しから、通期の売上高(連結及び個別)は、前回予想を下回る見通しです。

また、損益面につきましては、売上高の減少による減益に加え、相対的に利益率が低い遊星減速装置(アキュドライブ)や、大型タイプのハーモニックドライブ型減速装置の構成比率が上昇する見通しであることから、営業利益、経常利益、当期純利益を下方修正するものです。

以上

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績等は判断や過程に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし将来における当社の業績と大きく異なる可能性があります。